

アンケート結果

(アンケート回収 87 枚)

※各意見については、ご記入いただいたそのままを記載しています。

問1. 本日の研修について

大変参考になった	47	あまり参考にならなかった	1
参考になった	32	無回答	4
まあまあ参考になった	3		

問2. 本日の研修を受けて、高齢者虐待防止に向けて自ら実践してみたいことについてお聞かせください。

有効回答	80	無回答	7
------	----	-----	---

- 新人、ベテラン職員を含めた、虐待防止に向けての研修・再確認を定期的に行う。
- 自分たちの施設では大丈夫か確認して不適切な面があれば改善に取り組みたい
- 日々の業務をして、もう一度利用者に対して不快不穏な気持ち・虐待に近い様な事をしていないか今一度かんがえたい。
- 今までやってきたことだけではたりず、今日まなんだことを全部やってあげて利用者が過ごしやすい環境作りをやってあげたいです。
- パーソセンタードケアを大切にする
- 日々の業務だけでなく、利用者の表情や行動にもっと目をむけたいと思った。
- DVD をみて、自分が入所者として考えてみるとこわい。入所なんかしたくない。利用者入所者によりそうケアをしていきたい
- 個人の価値を高めるような支援、ケアを行っていききたい。
- 利用者の方が同じ事を何度もいう。そうゆう時でも丁寧にきいて何度でも同調していききたい。
- 重度の認知症の利用者様
- 高齢者や認知症をもつ人の理解と考え方を広げ虐待防止につなげる
- 常に向き合って話しを聞いていく。一人じゃないんだよと思ってもらえる対応
- まずは、職員の意識を上げたい
- 認知症の方の理解対応について、もっと理解を深めていききたい
- まずは、ご利用者の方の声を傾聴し、何を訴えたいかわかりあえるようにする。何か役割り（本人がやりたいこと）をあたえられるか考える
- 自分がされてイヤな事はしない事はあたり前ですが理解をする（何で訴えているのか？）日々の業務に流されず1人1人に目を向けていききたい。
- 傾聴
- 認知を持っている利用者様が多くなっている中、職員のわるい体応ばかりせめるのではなく、なぜ対応がわるくなるのか、職員の事も考え研修や利用者さん側の気持ちがわかるようなDVDなど使って勉強していききたい
- 利用者から要望や訴えがある時は、本人の状況を把握し、本人に合うような声かけや説明を行いながら対応していききたい。また、落ち着いた利用者に対してはその場しのぎでないケアを提供できるよう職員同士で情報共有していききたい。
- 利用者の訴えを良く観察したい

- 今回の研修資料を勉強会に使いたいと思います。
- 高齢者の声（訴え）により添ったケアを実践できるようにしたい
- PCC を意識して行うのではなく、自然に行えるようにしていきたい
- 他の職員にも話しをし、利用者様を人としてをもう一度みなで考えていきます。
- 利用者とのかわいかわ 本人が何をもとめているか しょくいんが 聞く耳をもつ事だと思いましたが 利用者の立場になってもう一度考え直し対応していきたい。
- うそをついて声かけを行っていました。かなりその場かぎりのケアになっていました。PD をなくしていき、より良いケアをめざす為に自分からPP をなくしていきたくと思います。 PE をどんどん使っていきます。職場で広げていきます。
- 高齢者の発言の背景にある事は何なのか？ もっと勉強していきたい。
- 個人の価値を低める行為であがっている事に対し悪意は無くとも行ってしまっている、という事、自分自身も思い返してみると思い当たる事があつたりし反省しましたので、まずは、認知症の方々（その他も含む）にたいしての接し方を振り返りみなおしていく事からはじめたいと思います。
- 認知症をもつ人の心理的ニーズに対する気づき 利用者本人が尊重されていると実感できるケア
- 人理的ニーズ5つの花びらを各利用者へおきかえ対応する PD ではなく PE 行為の心掛け
- 職員研修（身体拘束、虐待、認知症） パーソンセンタードケア研修
- 今日学んだことを、施設での研修に参考にします。
- 声かけの方法やいそがしい時でも利用者様の言葉をゆっくり聞くよう心がけたい
- 施設の委員会を通して施設全体に周知させていきたい。
- 「認知症だからどうせわからない」と、その場しのぎの対応は現場ではよく見かけます。不適切なケアに気づき、意識し、ケアを工夫し、尊厳ある質の高いケアの実践を目標に頑張りたいと思います。
- 向精神薬を使用しての抑制がなくなる様な支援 利用者・家族が主体なケア
- 援助者・被援助者にとらわれない双方の支援が必要だと感じた
- 今まで以上に利用者さんを理解し、利用者さんの立場になって、日頃のケアに取り組みたいと思いました。
- 最初聞きづらく解らなかった。次第に音響が良くなり分かり、自分を見直す事が出来今後の仕事につなげて行きたいです。
- 自分を見直せた。今後役立てたい
- 部署での学習会の開催 「ちょっと待って」の禁止
- いつも本人によりそってじっせんしていきたいと思います。
- 利用者様のニーズを理解し、なぜ、こう言う訴えをするのかを考えるようにする。
- 何回も同じ事言われる利用者について今まで以上にやさしく接したい。
- たくさんいるご利用者一人一人に今日の内容をすぐに実践することは難しいので、私に声をかけてくれた利用者には少し気持ちにゆとりをもって時間をとって話しをきいてみたと思います。
- 職場に戻ってパーソンセンタードケアを実践してみたい
- PCC の視点
- 法律をしっかりと理解し、目的や義務をはっきりさせる。
- 同じ事を仰る利用者の声を聞きそれを実践し、本当の声を聞きとれるようにする。
- 法務局でDVD を借りて職員ミーティングの際に全員で観たいと思いました。
- 認知症の方に本当のことを言わないことが多いことにふと気づきました。これからは、きちんと、本当のことを話し本人が安心でき納得できるまで寄り添っていきます。
- 色々とスタッフで共有できる改善案があり勉強になった
- 一人一人への接し方や話し方等を個性を見ながらこまめに声掛を心掛けていきたいと思いました。
- 一部の職員の意見で“うるさいから”と言って薬の量を増やすのではなく、利用者と職員の関

係性が築ける様にしたい

- 職場での虐待防止に向けてのグループ意見交換を行う必要がある。
- PE。何げなく使っていた言葉の中に PD にあてはまる事が多くてビックリしました。明日から PE をいしきして利用者さんの介ゴを行いたい。
- 傾聴しつつ 言葉の拘束「ちょっとまてよ」について
- パーソンセンタードケアから利用者様の心理的ニーズ、スタッフの対応を1人1人見直して、施設の課題としてあげていきたいと思います。
- 利用者様の訴えには聞き入れる様にしたい
- 現場でも研修会を開き、虐待への意識・知識を職員みんなで高め、虐待防止に引き続き努めたいと思います。
- 施設内でロールプレイを取り入れた研修を行いたい。
- グループホームでケアマネをしています。現場は常に業務で忙しく、職員さんの強い口調と悪性の社会心理を毎日感じています。特に従業の長い職員から見受けられ、施設ではそれがあり前のようになっていてだれも異和感を持つことはありません。家族だから... と私もつい思っています。本日の研修で施設に持ち帰り、みんなで話し合い初心の気持ちになればと思いました。
- 現場で職員等の視点の再確認としてマサさんの事例や施設内でおこる可能性を意見として話しあいたい。
- パーソンセンタードケアを実践していきたいです。
- 認知症→本人が一番不安→不安を和らげる為に話をする 相手を受け入れる
- 今まで通り、愛情をもって対応します
- 身体拘束廃止、虐待防止するには、全職員が PCC を学びケアに関わる事だと学びました。
- 高齢者虐待防止に向けて、認知症介護に関する勉強会を施設で行うと思いました。
- 相手の気持ち、立場になり、考える事が大切だなと思いました。
- 創造力を使って仕事に取り組んでいきたいです。
- その方の立場に立って、気持ちを分ってあげれる事心がけたい。
- 入所者様や家族様や職員から信頼される介護職をめざしていきたい。人にやさしく、ていねいな、介護をめざしていきたいと思います
- 利用者一人一人に合ったケアをし、虐待防止につなげていきたい。
- 本日の研修を施設に持ち帰り学習会を行いたい 尊厳を守る。寄り添うケア
- ベッドへの四点柵等など他にも目立たない虐待は多数ある事を知り、自分だけではなく周りに対しても声をあげて伝え、こういった対応があるのか？を周りと考え、共有していく。
- パーソンセンタードケア受講してその人らしく生きることを実感できました。組織文化の改革を実践したいと思います。
- 利用者様一人一人とコミュニケーションを取って何が目的か、一番は、利用者様の生活かんきょうをじゅうじつさせられるよう、よりそってあげたいなと、思いました。
- 他の職場スタッフなどに研修で聞いた事を情報共有する
- 虐待・拘束は絶対にしないと事業所内で全体周知で取り組んでいますが、いとした対応や行いが虐待・拘束になりかねないという事も、職員全員で共有し、利用者様目線でのサービスを提供していきたい。

問3. 研修等の実施方法、取り上げてほしい内容やテーマについて

(座学研修または事業所派遣による現場での実習形式などの方法により、今後行ってほしい研修があればご記載ください。)

有効回答	37	無回答	50
------	----	-----	----

- 認知症の対応について 医療面、くすり等
- グループワークを増やして、各施設でグレーゾーン等（虐待になっていないか？）に対してど

- う取り組みをしているのか、典型的な事についての研修を行ってほしい。
- ロールプレイを今後に生かせたい。もっと増やしてほしい。
 - 身体拘束についてもっと知識を深めたい
 - 事故、ヒヤリ。
 - 新人職員の為の介護の基本（認知ケア）をしていただきたい
 - 接遇
 - 他職種による認知症ケア
 - 相当、困難な利用者への対応の失敗・成功例の紹介等
 - 身体拘束などの記録の書き方
 - 虐待報告などの身体拘束不適切などあるが解除出来たケースなどの発表
 - 介護現場でのリスクマネジメント
 - 認知症ケア
 - 困難事例の対応方法等
 - 介護サービス事業所のサービスと質の向上
 - 日頃困っているケースをグループワークで話し合う機会が欲しい
 - 身体拘束
 - 看取りケア
 - 新人職員の基本研修、介護技術
 - 施設長クラスの方々が今の介護のやり方や施設をどうあるべきかが分かるような研修をしてもらいたい。
 - 具体例がもっと聞きたい
 - 統合失調症についても関心がある かかわり方を学びたい。
 - 介護職員に対する倫理教育
 - 職場でパーソンセンタードケアの研修を行ってほしい
 - チームビルディング 組織づくり
 - 心理面について
 - みとり、リーダーのやくわり
 - トランスファーのやり方
 - 食介の基本
 - ぜひせつでも座学をしてほしい
 - 事例報告会みたいな研修があっても良いのでは？ このようなケースがあり、どのように対応した等、色々他の話があれば聞いてみたい。
 - 「何故、虐待がおこるのか？」をテーマに研修を実施してほしいです。
 - 高齢者施設における職員のあり方、職員間のコミュニケーションのとり方
 - 虐待をする人の心理、させないためにはどのように対応するか
 - 言葉遣いやマナーに関する研修（→普段からきちんとした言動を意識したい）
 - 各施設から困難事例を募集して参加される皆さんと考えるような研修
 - ロールプレイを色々とり組んでほしいなと思いました。
 - 介護の仕事、初心者からベテランまでの方が研修後、勇気をもらうような内容を希望します。
 - まだ介護の仕事を始めたばかりなので、いろいろな研修があれば参加していきたい。
 - リーダーとは... 職員同士のコミュニケーションについて
 - コミュニケーションについて
 - 認知症の研修 何度も受けてみたい内容でした。

問4. 研修等を実施する場合、参加しやすい時期・時間帯等を教えてください。

有効回答	46	無回答	41
------	----	-----	----

参加しやすい時期：

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2	2	2	7	2	3	4
8月	9月	10月	11月	12月	特になし	無回答
2	3	4	2	1	1	58

第1週	第2週	第3週	第4週	特になし	無回答
2	4	10	1	1	70

月	火	水	木	金	土	日	特になし	無回答
5	7	12	12	15	4	2	1	54

時間帯：

9時～15時	1	13時～15時	2	15時～17時	2	日中	1
9時～17時	1	13時～16時	2	17時30～18時30	1	夕方	1
10時～12時	3	14時～16時	26	17時～19時	1	特になし	1
12時～15時	1	14時～17時	1	18時～20時	2	無回答	40

問5. ご意見、ご感想等がありましたら、ご記載ください。

有効回答	37	無回答	50
------	----	-----	----

- この研修を受け、再度利用者側の視点で考えていくことが大切と思いました。
認知症（BPSD ここの対応力をつける事が重要）→身体拘束→虐待
- 今日の研修に参加して、初心になり、もう一度かんがえたいと思います。DVDも何年か前に見ましたが、前回見たより何にかかんがえさせられると思いました。
- とてもわかりやすく、いろいろ学べました。これをきにやくだたせたいです。
- 基本に忠実に、な～な～にならない。
- 久しぶりの研修で再度確認できました。言い続けることで虐待に気が付けるようになるかと思っています。
- 虐待の通報があった場合にどのように動くのか知りたかった
- 月始、月末はさけた方がありがたい
- 研修会場でのDVDの販売（領収書つき）お願いします。
- 本日は貴重な時間をありがとうございました。ロールプレイ等でグループワークをすることで他の意見も聞けることができました。
- 職員不足は現場での大きな問題であると思う。個人の資質もあるが、そういった要因も解決し

ないと難しいと思った。

- 施設でも30分くらい勉強会みたいにしてほしい
- 組織としてかんがえ、今後も、職員に指導していきます。パーソンセンタードケアは、スタッフも1員ですに、感動しました。
- ふり返りができてとても良かった ウソをつくことが決して正しい事ではないかもと考えさせられます。
- また、勉強になりました。ありがとうございました。
- 悪い例というのは良く聞くので良い例も今後の参こうとして学ぶ事が出来たらいいなと思いました
- 委員会メンバーと再度話し合いを持ちたいと思います
- 介ゴ職について6年目です。初心に戻る考えができました。
- 介ゴ職スタッフにどう意識させていけばいいのでしょうか？
- パーソンセンタードケアの視点を活かした虐待防止の働きかけ、とても分かりやすかったです。
- 気持ちが新たになり介護したいと思います。
- ふだん業務におわれていましたが、考えさせられる時間ができてよかったです
- DVDの音が小さくて聞きとれなかった。
- パーソナルケアとても勉強になりました。ありがとうございました。
- 具体的な通報内容やどの様な虐待があったのか知りたい。
- 日常的に行っている介護が（声かけや介助の仕方）など自分自身見直しを行い、スタッフと話し合っていきたい。
- あらためて勉強になり、初新の気持ちの戻り、いいケアが出来る様に勤めたい。
- 施設職員同士との連携が大事。働きやすい職場では虐待は予防できるのではないのでしょうか。
- 『「忙しいから虐待が起きる」は原因の本質か?』について深掘りした勉強会を行って頂きたいです。
- ありがとうございました
- もしかしたらやってるのかな?という職員の対応になやんでいます。証こがない。
- とても考えさせられる研修でした。
- グループワークの時間が足りなかった
- 質走応答がなかった。
- 本日は勉強になりました。
- 利用者の立場や職員の立場について考えられ良かったと思います。
- 大変勉強になりました。職場でもケアについて考えていこうと思います。